

写

平成24年10月15日

各 部 局 等 の 長 殿

高浜市長 吉岡初浩

平成25年度（2013年度）予算編成について

わが国の経済状況は、東日本大震災からの復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務問題や長引くデフレ、電力供給の制約などの懸念材料を抱えており、依然として先行き不透明な厳しい状況にある。

本市においても、先が見えない経済状況下において、引き続き厳しい財政状況が見込まれる。中期財政計画における財政収支の見通しでは、歳入の根幹を成す市税収入は確たる好転が望まれず、リーマンショック前の平成20年度当初予算時との比較では、7億円余りの乖離が生じており、財政構造の硬直化は一層進んでいる状況にある。また、一般財源として活用できる財政調整基金の残高は、平成25年度末で6億円余りと年々減少傾向にあり、数年後には必要な水準を維持することが困難な状況となることも危惧される。

今後、少子高齢化対策などの社会保障関係、公共施設の老朽化対策、防災対策の更なる強化など市民生活に関する喫緊の課題に対応していくための経費が増加していくことは明らかである。これらを着実に実現していくためには、安定的かつ健全な財政基盤が必要であり、その確立に向け、最大限、努力していかねばならない。

こうした中、第6次高浜市総合計画がスタートして3年目を迎える平成25年度は、前期基本計画の最終年度となる。将来都市像である「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」を目指し、前期基本計画を検証した上で、“**中期基本計画へつなぐ**”、ステップアップするための重要な年度でもある。

職員一人ひとりが「市の財政は厳しい」ということを再認識し、「入るを量りて出づるを制す」といった基本姿勢の下、経営という観点から予算編成を抜本的に見直し、メリハリの効いた予算編成を行うこととする。

これまでの財政の健全性の確保に対する職員の努力に感謝するとともに、今一度、更なる取組みに向けてより一層の努力をお願いしたい。

1 平成25年度予算編成の考え方

平成25年度の予算編成では、『高浜市の未来へつなぐ予算』として、次のとおり3つの基本的な考え方を掲げることとする。

I) 総合計画の着実な推進

前期基本計画の最終年度となることから、行政評価の結果並びに第6次高浜市総合計画推進会議からの提言を踏まえ、各分野における目標がしっかりと達成でき、かつ、将来的な施策展開を見据えた計画的な予算編成を行うこと。

II) 重点施策への財源配分

中期財政計画に基づき、限られた貴重な財源を有効に活用するため、予算編成会議による協議の結果等を踏まえ、緊急度・優先度が高い施策（今すべきこと）に重点を置いた予算配分を行う。

III) 予算編成手法の見直し

メリハリの効いた予算編成を実現するため、予算編成前の課題の明確化、重点施策の明確化、経営マネジメントを行うための予算編成会議の設置などを取り入れた『新たな予算編成』に挑む。また、昨年度同様、市民にわかりやすい財政運営を行うため、予算編成過程の透明性を確保する。

2 重点施策

平成25年度の予算編成においては、第6次高浜市総合計画の基本計画の体系に基づき、以下の重点施策に財源を優先して配分する。

I. みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

○ 財政基盤の強化

- ・税負担の公平性の確保につながる事業

II. 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

○ こども

- ・子育て支援サービスの充実につながる事業
- ・教育環境の向上につながる事業

III. 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

○ 安心・安全

- ・さらなる地域防災力の向上につながる事業
- ・防災体制の向上につながる事業

IV. いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

○ 健康

- ・認知症の予防・早期発見につながる事業
- ・高齢者の健康づくりにつながる事業